

社長塾セミナー

決算書の見方

新美会計事務所
川瀬英郎

決算書って何？

- 企業の事業年度ごとの経営状態や財務状況などをまとめた一連の書類のことを指します
- 決算書は企業が決算期に作成する書類で、税務申告をするうえで欠かすことのできない書類です
- 企業の一年間の経営活動が表されている書類なので、経営者が会社の売上高や利益などの経営実態を把握するうえでも重要な書類です
- 誰のために会計をして決算書を作るのかを理解すること ……もちろん会社のための会計です

なぜ経営者に財務会計の知識が必要なのか

- ・ 誰のための会計なのか
- ・ 会計の目的を考えてみる
 - 税金の計算をするため
 - 第三者に報告するため
 - 経営者が経営判断をするため
- ・ 等の目的が考えられます
- ・ 商売をするにはまず利益を確保すること！
 - 初めに利益ありきです

決算書の構成について

- 貸借対照表(B/S)と損益計算書(P/L)
- 販売費及び一般管理費明細書
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表

貸借対照表について

- 資産と負債と資本(純資産)
- 固定資産が多いのは○か×か？
- 企業の返済能力(安全性分析)
- 要チェック！！わが社の自己資本比率 30%あれば○です
- NK商店の場合 $\text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100$
 $11,500 \div 14,500 \times 100 = 79.3\%$
- 川瀬商店の場合 $11,500 \div 114,500 \times 100 = 10\%$

損益計算書について

- 収益と費用
- 利益の色々
- 営業利益と経常利益、税引き前当期利益???
- 売上総利益とは会社の主たる営業活動によって獲得した利益
- 営業利益とは売上総利益から経費を差し引きした利益
- 経常利益とは営業利益に金融収支等の主たる営業活動以外の収益及び費用を差し引きした利益
- 税引き前利益とは経常利益から特別利益、特別損失を差し引きした利益

決算書を使った財務分析

- 原価率と利益率

- NK商店の場合は $\text{原価率} = \text{売上原価} \div \text{売上高} \times 100$
 $8,000 \div 15,000 \times 100 = 53.3\%$
 $\text{利益率} = \text{売上総利益} \div \text{売上高} \times 100$
 $7,000 \div 15,000 \times 100 = 46.6\%$

- 原価率と利益率の関係

- $\text{原価率}53.3\% + \text{利益率}46.6\% = 1$

決算書を使って経営戦略を立てる

- 決算書に会社の強みと弱みがみえる
- 会社は毎期同時期に決算書を作成するので、前年同期と比較すること
- 例えば・・・売上高が前年割れしていたらその原因を追究すること

決算書は比べてなんぼ！！

- 決算書を使った経営計画の作成